北杜市立小淵沢中学校だより　　令和３年４月２３日　No.１

YATSUGATAKE通信

校長　藤巻　昭彦

学校教育目標～八ヶ岳高原のこの地を愛し，人間性豊かに生き抜く生徒～

ご入学おめでとうございます

４月６日（火），北杜市教育委員会教育長　輿水清司様とＰＴＡ役員の皆様、アメージングアカデミー代表小川健一様、多くの保護者の皆様のご臨席を賜り，第６２回入学式を挙行しました。つい先日小学校を卒業したばかりの６０名ですが，初々しい制服に身をまとい，中学校生活へのやる気に満ちあふれていました。

式辞の中で，次の２つのことについて話しました。一つは小淵沢中学校生徒会の伝統についてです。本校には生徒会三項目という自主的な決まりがあります。この決まりには自分たちへの誇りと強い自負心が込められています。新入生の皆さんも伝統を引き継ぐ一人であってほしいと伝えました。

２つ目は，「挑戦」です。コロナ禍の厳しい一年を過ごすことで、様々な知見が積み重ねられ、活動の可能性が広がりました。まだまだ制約はあります。その中でも式辞でも述べた通り、何がどれくらい出来るか、精一杯試してほしいと思います。

新入生代表の誓いの言葉では，代表の由井詩央里さんが，「誰もが笑顔で過ごせる良い人間関係を作り，笑顔があふれる学年にしたい。」という決意を堂々と発表してくれました。

学校教育目標の「八ヶ岳高原のこの地を愛し，人間性豊に生き抜く生徒」の育成には，保護者や地域の方々のご理解とご協力が必要です。よろしくお願いいたします。

１７３人のスタート

新入生６０人，２年生４９人，３年生６４人，全校生徒１７３人の始業式。校長として，「目標を定め、ぶれずにしっかりと歩みを進めてほしい」などコロナ禍の１年を過ごす上での思いや願いを話しました。

２年生代表の藤森優太さん，３年生代表の塩谷天寿さんは，先輩としての自覚や具体的な努力目標を力強く発表してくれました。生徒と同様に，教職員も新たな気持ちでスタートを切りました。

新入生歓迎会

１３日（火）に生徒会や３年生が中心になり，新入生に生徒会活動を理解してもらう会を行いました。映像やクイズなどを工夫し，組織や活動内容などを楽しくわかり易く説明してくれました。先輩が後輩に伝える伝統の扉が開かれた感じがしました。